

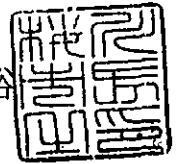


桜 建 第 1 5 2 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

桜川市長 中田 裕



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙のとおり提出いたします。

一般国道50号は、茨城県の県西、県央地区の主要な都市と太平洋側の都市を連絡するとともに、北関東の主要都市とを結ぶ広域幹線道路であり、沿線の市町はもとより、周辺地域の経済・文化活動への影響は極めて大きいものがあります。

茨城県の県西地区、県央地区における国道50号の整備については、現道はもとよりバイパスにつきましても特段のご配慮をいただいているところですが、近年のモータリゼーションの進展により交通渋滞等の支障が生じております。

つきましては、早期に交通の円滑化を進めるとともに、活力ある地域づくりや、人にやさしい空間づくりに役立つよう、一般国道50号の一日も早い整備促進及びバイパスの早期の都市計画決定、完成供用を図るため、強力に推進されますよう要望するとともに、私たち地方に生活するものにとって、自動車は必需の交通手段となっており、道路特定財源の一般財源化は「大都市優先、地方切捨ての政策にほかならないことから、道路整備を積極的に推進していくため、一般財源化することなくすべて道路整備に充当する」とともに、より一層の充実確保を図られるよう、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○現状

今、桜川市は少子高齢化及び人口の減、特に優秀な若者（人材）の地方離れなど都会への流出が毎年加速し大都会と地方の格差が著しい状況下であります。それを打開して行くために、恵まれた自然環境や誇るべき歴史、伝統・文化的財産など本市の持つポテンシャルを十分に活かすことが、今後の桜川市の発展には欠かせないことであると考えております。

それには、流通幹線道路の整備、特に国道50号の全線4車線化。北関東自動車道全線完成することにより、近県である栃木県・群馬県への交流道路の確保、また、古河市を始めとした筑西地方の拠点都市を結ぶ筑西幹線道路の整備など早急なる整備が求められております。

このため桜川市では、県道つくば益子線、県道東山田岩瀬線、県道石岡筑西線の改良整備促進を茨城県に対し、強く要望活動をしております。

桜川市においても、この各種物流幹線道路を活用した企業誘致事業など、積極的に展開し、新しい街づくりに努めているところです。

生活道路に関しましては、鉄道やバスなどの交通機関の廃止が進む中、地方の住民にとって自動車は必需の交通手段となっております。しかし、地方の道路は、まだまだ未整備の道路が多く、幅員も十分でなく、大型車や緊急時の車両の通行も困難な集落内の道路や、集落と集落を結ぶ道路が大雨のたびに冠水するような状況となっております。

○課題

桜川市では、豊かな自然とにぎわいのある都市空間が共存、両立するような市の将来ビジョンに向け、有効な土地利用計画に基づいて、道路・上下水道・農業基盤整備等の各種施策を展開してきました。

今後、市の将来に大きな影響を与えるものと見られる「北関東自動車道」桜川筑西インター周辺整備と併せて、旧市街地のまちなみ整備を進め、活力があり若者に魅力のある施策が課題となっています。

桜川市の主な生活環境基盤の整備を課題としましては、特に、幅員も狭く歩道もないことから、一般車両の擦れ違いに苦慮する箇所が多く、児童生徒の通学路の路線整備が最優先課題であります。

市民が安全に安心して豊かに暮らすため、交通の渋滞の緩和、交通危険箇所の解消、歩行者・自転車の安全な通行、医療・通勤・通学等生活道路の整備、バリアフリー等高齢者対策や災害対策、交通事故への対策等財源厳しい中、限られた予算で効率良く市民へのサービスを提供しつつ、緊急度の高い箇所から順次整備を進める。